

# 千波湖環境学習会レポート！②

令和3年6月6日（日）

テーマ 「ビオトープ」を作ろう

本日最初の学習会は「ビオトープ」を作ろうです。  
ビオトープの働きを学びながら体験します。

最近よくビオトープという言葉聞くようになり  
ましたが、ビオトープとは、たくさんの生物たちが  
すめるように整えた場所ということです。

千波湖のビオトープは、千波湖にすむ魚やエビ、  
アメンボやトンボなど水の中で育つ昆虫など、水辺を  
好む生物がすみやすい環境づくりをしています。

今回は、小魚や小さなエビ、昆虫などがすみやすい  
環境を作るため、千波湖の南側湖畔に、水辺に適した  
植物を子どもたちが頑張って植えました。



ビオトープへ出発！



ビオトープに到着後、講師の先生から植える植物の種類と植え方の説明がありました。

本日植える植物は「セキショウ」、「ヨシ」、「ガマ」の3種類です。大きく波に強い「ガマ」は  
ビオトープの外縁に、その中に「セキショウ」と「ヨシ」を植えました。



みんな泥に足を取られながらも一生懸命作業した結果、立派なビオトープが完成しました。  
千波湖の水がきれいになって、たくさんの生物や植物が育つビオトープになるといいですね。  
これからが楽しみです。